

愛知木曾川リトルシニア会長旗争奪大会

SASUKE名古屋ヤング初V



優勝したSASUKE名古屋ヤング＝毘森球場で(高野行正撮影)

中学硬式野球の第3回愛知木曾川リトルシニア会長旗争奪スポーツデポカップ最終日は4日、愛知県豊田市毘森球場であり、決勝はSASUKE名古屋ヤングが4-3で豊田シニアを破り初優勝した。SASUKE名古屋ヤングは鈴木唯斗投手(名古屋市立高針台中2年)が攻守で活躍してチームを支えた。

鈴木投打に活躍

プラス思考でタイムをたぐり寄せた。鈴木は2点リードで迎えた決勝の7回、2死満塁で死球を与え1点差に詰め寄せられた。ピンチにもス

トッパーは「思い切り腕を振って投げよう。この



力投する鈴木＝毘森球場で

中部スポーツ応援宣言

▽準決勝

豊田シニア	2000100001	34
愛知木曾川シニア	0001000000	34
(豊) 沖野、寺山、小島、林		
(愛) 箕田、内田、貞元		
SASUKE名古屋ヤング	0001000004	46
0001000002	46	
愛知衣浦シニア	0001000002	46
(近) 第3回はタイブレーク		
(S) 野村、鈴木、徳宮		
(愛) 近藤、購買、山下		
▽決勝		
豊田シニア	0020000011	43
20002000	43	
SASUKE名古屋ヤング		
(豊) 森、林、一宮、森田		
(S) 石川、小川、森、鈴木		

打者を抑えるおかげ」と次打者を二ゴロに仕留めた。

「いつもプラス思考でプレーすることを目標にしています」と話す鈴木は、3日の2回戦では1試合2ホームランで快進撃の立役者となった。

鈴木は球をぶつけるアタックカーンとして3

度ともMVPに輝いた。法元留至監督代行(54)は「入団当初は素人でしたが、素直な性格でここまで伸びてくれました」と褒める。伸びしろ十分の左腕は早くも高校野球関係者の注目を浴びている。(高野行正)